

職業体験学習～鈴鹿市内の中学生を迎えて～

11月12日より4日間、鈴鹿市内の2校の中学生の方が、職業体験学習に来てくださいました。この事業は鈴鹿市教育委員会の支援を受け、キャリア教育の一環として鈴鹿市内の中学校が取り組んでいるものです。この事業を通して、働くことの喜びや苦勞、職業の社会的な意義や役割、生きがいなどについて考え、自己の生き方についての自覚を深め、進路選択の一助となることを目的としているそうです。

当院の職業体験は、看護部が窓口となり、看護師や看護補助の仕事を見学・体験する機会を設けています。また、他の医療職についても知る機会となるようスケジュール調整を行い、将来の自分の道を考えるきっかけになればと考えています。

今回は、社会福祉士・臨床心理師・管理栄養士・臨床工学技師より実際の仕事の内容を説明させていただきました。将来、学生さんが、地元である鈴鹿で医療に携わることになれば嬉しい限りです。



4日間の職業体験学習終了後、4名の学生さんと振り返りの会を行いました。初日に比べ、それぞれの学生さん全員の成長を感じました。「自分の将来を考える視野が広がりました」「一人の患者さんを色々な職種の方々が支えていることを知り、ますます医療の職に就きたいと思いました」と頼もしい意見を聞かせていただきました。そして、職業体験中の学生さんを、患者さんが温かく見守ってくださり、本当に感謝しております。

今後も、鈴鹿中央総合病院は、学生さんの夢を応援します。